

地域の課題解決に向けて

もっと話し合いをしましょう

地域が抱える課題は住民同士の話し合いによって解決に向けての方向性を定めましょう。住民生活に直結する問題については、住民が互いに協力し、助け合いながら、地域自らの手で解決していくことが求められています。お役所頼みや人任せは止めて、時間がかかっても主体的に話し合いで取り組みましょう。



地域コミュニティにおける住民同士のコミュニケーション不足が、これからの超高齢化・人口減少社会の到来に向け「無縁社会」と呼ばれるような重大な問題になることが予測されます。

しかしながら市民の危機意識は薄く、具体的な対策も講じきれていません。問題解決には人任せから脱却し、地域住民などの自発的な取組みにより「安全で安心な地域社会」を構築することが大切です。その為には地域に話し合いの文化を形成し意思決定を積み重ねるプロセスが重要です。

提言の背景となった事業

・地域のおしゃべりコミュニケーション～防災について考えよう！～

行政からの情報や実際の避難所となる会場での話し合いの場で、「当初はコミュニティ協議会の事業なので集まった。主催したJCの進行に従って指示されたことを検討する」というスタイルであってように見えてましたが、具体的な話し合いが進むにつれて、自分たちの問題であり避難所開設という具体的な現実の問題に対して真剣な話し合いの場となりました。参加された方々は話し合うために自分の住む地域について自然と考え、住んでる人たちのことを考え、普段の暮らしの延長に地域の課題があることを感じていただけたことと思います。